



何か始まらない雨の季節が7月も目前にやってきました。雨の恵を受けないと、私達の生活は苦しくなります。けれど、降りすぎても、困難です。  
 "恵の雨、と何かの恵も祈りながら、夏も待つようにしよう。  
 子どもたちの大好きな水遊びやアールグレイが待っていますものね。子どものはやく声が大好きな 大川保育園 ですよ。

7月の予定	
5日(金)	七夕会
13日(土)	夕涼み会
24日(水)	たん生会
・プール開き 第3回	
・体育館リズム運動	
ぱんだ組・きりん組 参観	
23日(月)	30日(日)
8/6日(月)	20日(月)
	27日(日)

### 子どもの「学び=教育」

先日、きりん組年長児はプラネタリウム見学の遠足に出かけました。行き先は、八幡東区桃園です。当日は朝から雨、風もあり傘はあおられそうです。中止するか決行するか、空を恨めしく眺めました。思いの中にあるのは、子どもたちを巻き込む交通事故のニュースです。「もしも何かあったら」「危険を冒してまでいくべきか」「楽しみにしている子どもの気持ち」と考えは巡ります。

結果、「行く」を決めたのは、保育士の力・子どもたちの力があったからです。ぱんだ組さんの時に経験している、遠足、山登り、体育館リズム等々。歩く力はあると思います。子どもの発達・成長には実体験が不可欠です。試して、関わって、感じて、気づいて、分かって、知る、つまり「学ぶ」のです。経験なくして学びはないのですね。それに「歩く」ことの経験が、現代社会からはとても少なくなっています。保育園の送迎は、ほほとのご家庭も“車”です。日祝日のお出かけも“車で”が多いのではないのでしょうか。歩くことで、脳が発達し進化してきた人間ですから、歩くことは子どもの発達にとっても必要なことと、捉えています。

小学校に行ったら、送迎はありません。暑い日も雨の日も、自分で歩いていかなければなりません。子どもたちには、そういった経験や歩くことが出来ていたからこそ、可能だと思いました。

さて、きりん組さんの雨の日の遠足は、色とりどりのレインコートに身を包み、傘をしっかりと握りしめ、電車に乗り、バスに乗り継ぎ、児童文化科学館に到着しました。おかげで、プラネタリウム見学、施設内活動そしておいしいお弁当と、楽しくワクワクした時間を過ごすことが出来ました。帰るころには、すっかり雨はやみ歌を歌いながら帰り着くことが出来ました。晴れた日の影の濃さ 風の日の空の面白さ 雨の日のうっとりさ 傘に落ちる雨音のリズム 移り行く空の色合い 子どもたちが今日、歩いて見て聞いて感じて思っ知ったことです。そういったことが、子どもにとっての「学び」であって、教育だと思います。

### ほけん だより

#### 食中毒を予防しよう

食中毒が発生しやすくなっています。子どもたちの健康を守るためにも、この時期はご家庭でも、いつもより衛生的に過ごすように心がけてください。

##### 予防のポイント

- ① 新鮮な食材を使う。調理してから時間がたったものは食べない
- ② 魚や肉は十分に火を通す
- ③ 賞味期限や冷蔵庫を過信しない
- ④ まな板や包丁などはまめに熱湯消毒や漂白剤で殺菌する
- ⑤ 調理前や食事の前、トイレの後にはせっけんで手を洗う
- ⑥ 手指に傷がある場合はブドウ球菌に感染しやすいので注意する



◎ 全国的に流行している手足口病  
 大川保育園でもその兆しが...  
 気をつけよう!

#### 手足口病にご注意を

手のひら、足の裏、口の中に小さな(米粒大)の発しんや水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすることもある。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起したりすることもあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようになったら。